

## 天敵製剤スワルスキーカブリダニに対する数種薬剤の影響（追補）

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

アザミウマ類やコナジラミ類などの有望天敵であるスワルスキーカブリダニに対する薬剤の影響については、普及に移す技術第84号（参考資料）で示した。今回、他剤の影響について評価したので、本天敵のさらなる普及推進に当たっての参考資料とする。

### 2 参考資料

- 1) スワルスキーカブリダニに強い悪影響を及ぼす薬剤は、殺虫剤のエマメクチン安息香酸塩、ミルベメクチン、ビフェントリンである（図1）。
- 2) スワルスキーカブリダニに悪影響を及ぼすものの、その影響期間が短い薬剤は、殺虫剤のイミダクロプリド、チアメトキサム、殺菌剤のキャプタン、ジエトフェンカルブ+チオファネートメチル、トリフルミゾールである（図1）。

### 3 利活用の留意点

- 1) スワルスキーカブリダニに強い悪影響が認められた薬剤（上記参考資料1）の薬剤が該当）は、本天敵放飼後には散布しない。
- 2) スワルスキーカブリダニへの影響期間が短い薬剤（上記参考資料2）の薬剤が該当）は、本天敵放飼の約2週間前までならば散布できる。
- 3) 試験は10月8日および21日にスワルスキーカブリダニを放飼し、十分な定着を確認したナス圃場で10月30日に散布（300ℓ/10a）した。また、各薬剤の影響期間やスワルスキーカブリダニの各ステージの違いに対する影響、他の希釈倍数での影響については不明である。
- 4) スワルスキーカブリダニ製剤は、野菜類（施設栽培）などのアザミウマ類、タバココナジラミ類、ナス（施設栽培）のチャノホコリダニに登録されている（平成22年2月19日現在）。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話022-383-8123）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

農作物病虫害防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験 平成21年度

##### 2) 参考データ

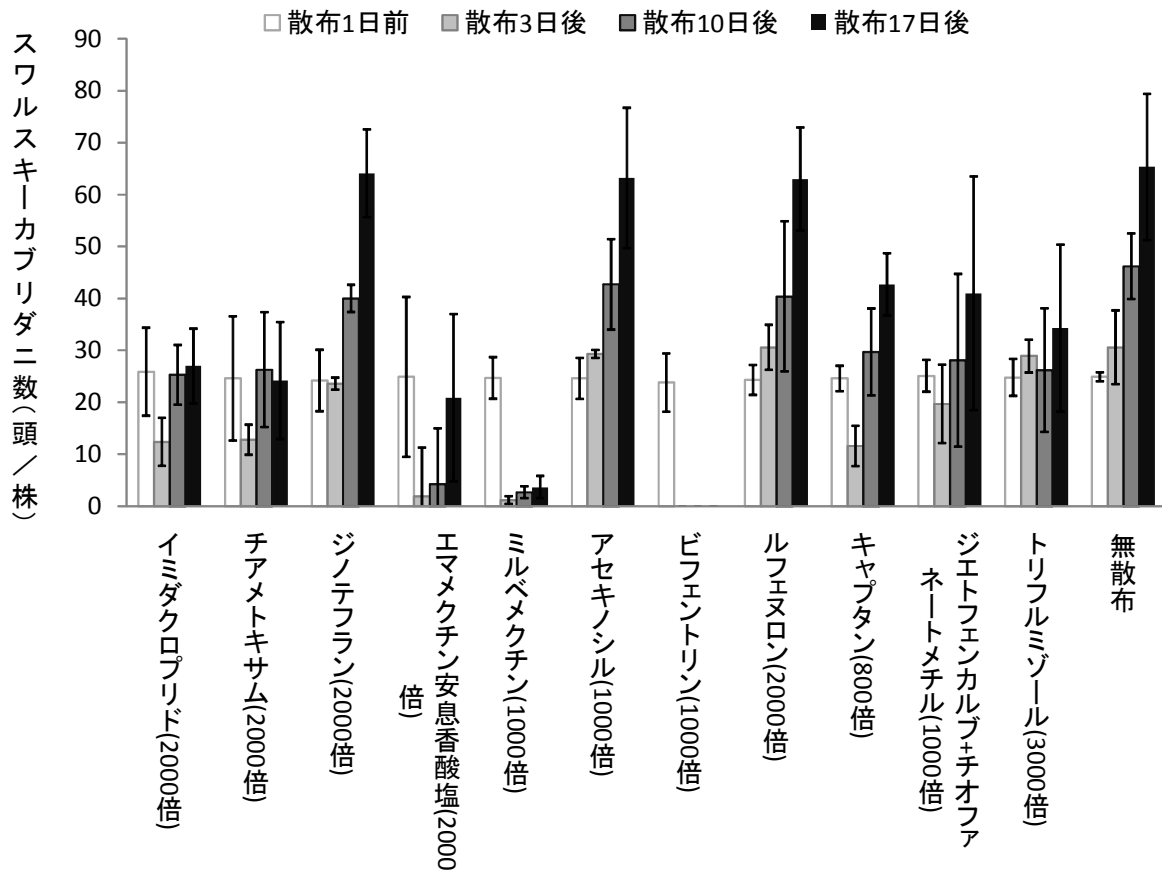


図1 スワルスキーカブリダニに対する各薬剤の影響

(平成21年，農園研内のナス圃場，スワルスキーカブリダニは10月8日，21日に放飼，10月30日に各薬剤を散布，薬剤名は剤形を省略，バーは標準誤差を示す。1区3連制)

3) 発表論文等 平成21年度 第54回日本応用動物昆虫学会大会発表

4) 共同研究機関 なし